# 事務事業評価シート　令和　2　年度事後評価・決算

令和　4　年　2　月　10　日時点

| 所管課 | 企画政策課 | 担当班 | 企画調整班 |
|---|---|---|---|

| 事務事業名 | コード | 4700 | バス路線維持対策事業 | 予算科目 | 会計 | 款 | 項 | 目 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 一般 | 2 | 1 | 10 |

| 施策体系 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 基本施策 | 29 | 公共交通網の整備 | 根拠法令 | 府馬線運行協定書、旭～銚子線運行協定書 | |
| 施策の展開 | 63 | 公共交通の確保 | 戦略事業 | 261 | バス路線維持対策事業 |
| 施策の展開 | | | 戦略事業 | | |

事業種別
- ☑ 主な事業
- ☐ 国土強靭化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☑ 定住自立圏構想
- ☐ 主要事業

## (1)事務事業の概要

**① 事務事業の期間**

☑ 単年度繰返
- ☑ 平成 11 年度～
- ☐ 開始年度不詳

☐ 期間限定複数年度
平成 ___ 年度～
令和 ___ 年度まで

**② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない**

千葉交通㈱が運行している路線バス(府馬線、旭～銚子線)について、路線を維持させることで地域住民の利便性を確保するため、経常損失額に対して補助を行う。
※補助については経常損失額の2分の1を路線経路上の関係市(香取市、銚子市、旭市)で負担する。
【府馬線】○小見川駅～府馬～旭駅･･･旭:50.26% 香取市:49.74%　○小見川駅～府馬～旭農高･･･旭:51.76% 香取市:48.24% ○小見川駅～府馬～旭中央病院･･･旭:53.06% 香取市:46.94%
【旭～銚子線】○陣屋町～イオン銚子～飯岡～旭駅･･･旭:47.67% 銚子市:52.33% ○陣屋町～イオン銚子～飯岡～旭中央病院～旭駅･･･旭:48.65% 銚子市:51.35% ○東芝町～イオン銚子～飯岡～旭中央病院～旭駅･･･旭:50.29% 銚子市:49.71% ○陣屋町～イオン銚子～飯岡･･･旭:17.94% 銚子市:82.06% ○銚子駅～イオン銚子～飯岡･･･旭:19.55% 銚子市:80.45% ○東芝町～イオン銚子～旭農高･･･旭:47.77% 銚子市:52.23%

**③事務事業開始の経緯・事務事業の現状**

平成14年の道路運送法の改正に伴い、本路線についても不採算路線との理由から退出の申し出があった。千葉県バス対策地域協議会との協議の結果、「生活路線として必要不可欠であるため、関係市の補助を受け運行を維持する。」とされた。

**④事務事業に関する課題・環境の変化**

府馬線については利用者が減少してきているが、旭～銚子線においては銚子イオンへの乗り入れ、銚子市の中学校の統廃合による新たな需要が生まれたため、利用者が増えた。生活交通として必要不可欠ではあるが、今後も人口減少により利用者は減少すると推測される。

**⑤事務事業に対する住民からの意見等**

銚子市の学校統廃合により、通学にも使われている路線から必要不可欠である。

## (2)コスト・特定財源の状況

**① 事業費の詳細(2年度の決算)**　単位:千円

| | | |
|---|---|---|
| 1.負担金補助及び交付金 | 9,753 | 経常損失額への補助金 |

**② 特定財源の内訳(2年度の決算)**　単位:千円

| | | |
|---|---|---|
| 1.国庫支出金 | 0 | |
| 2.都道府県支出金 | 0 | |
| 3.地方債 | 0 | |
| 4.その他 | 0 | |

| 前年度増減理由 | 新型コロナウイルスによる休校や外出自粛の影響で、運賃収入が減となり、損失額が増大し、補助金額が多くなった。 |
|---|---|

| | | 単位 | 29年度(決算) | 30年度(決算) | 1年度(決算) | 2年度(決算) | 3年度(予算) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 費目内訳 | 1. 負担金補助及び交付金 | 千円 | 6,202 | 6,457 | 6,298 | 9,753 | 9,753 |
| | | 千円 | | | | | |
| | | 千円 | | | | | |
| | | 千円 | | | | | |
| | | 千円 | | | | | |
| | 事業費計 (A) | 千円 | 6,202 | 6,457 | 6,298 | 9,753 | 9,753 |
| 財源 | 1. 国庫支出金 | 千円 | | | | | |
| | 2. 都道府県支出金 | 千円 | | | | | |
| | 3. 地方債 | 千円 | | | | | |
| | 4. その他 | 千円 | | | | | |
| | 5. 一般財源 | 千円 | 6,202 | 6,457 | 6,298 | 9,753 | 9,753 |

| 従事職員数 | 常時 | 1 人 | 最大 | 1 人 × | 5 日 = | 延べ | 5 人 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

## (3)事務事業の手段・目的と対応する指標

**手段**

① 主な活動
2年度実績(2年度に行った主な活動)
補助金工事

| | ③ 活動指標名 | 単位 | 29年度(実績) | 30年度(実績) | 1年度(実績) | 2年度(実績) | 3年度(計画) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ア | 1日当たりの便数(土・日曜日、祝日) | 便 | 36(26) | 36(26) | 36(26) | 36(26) | 36(26) |
| イ | 停留所数 | 箇所 | 92 | 92 | 92 | 92 | 92 |

**目的**

② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)
対象:市民
意図:移動手段を確保することにより生活の活域が広がる。
対象:
意図:

| | ④ 成果指標名 | 単位 | 29年度(実績) | 30年度(実績) | 1年度(実績) | 2年度(実績) | 3年度(計画) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ア | 年間利用者数 | 人 | 157,207 | 168,199 | 168,995 | 140,070 | 168,995 |
| イ | | | | | | | |

## (4)事務事業優先度評価の結果

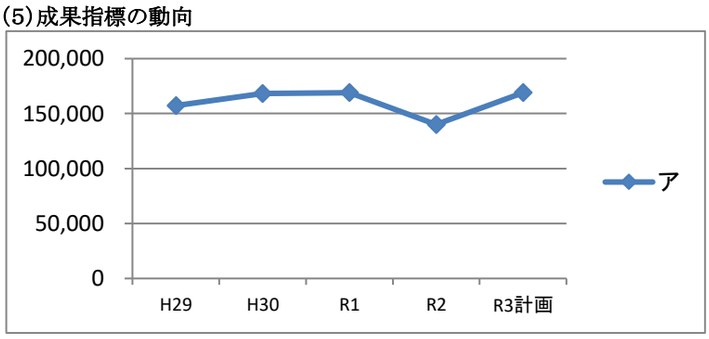
①成果優先度評価結果

| | | 成果向上余地 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | かなりある | ある程度ある | ほとんどない |
| 施策貢献度 | 大きい | ① | | |
| | 普通 | | | |
| | 小さい | | | |

②コスト削減優先度評価結果

| | | コスト比率 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 下位 1/3 | 中位 1/3 | 上位 1/3 |
| 成果優先度評価結果 | ① | (1) | | |
| | ②③ | | | |
| | ④⑤⑥ | | | |
| | ⑦⑧⑨ | | | |

## (5)成果指標の動向




## (6)事務事業に関する評価

**評価内容**

① 進捗状況
☐ 完了　☐ 順調　☑ 概ね順調　☐ 停滞　☐ 実施困難

【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)

② 成果の状況

| 成果指標 | 成果指標のタイプ | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 成果指標ア | ↗ | 数値増=成果向上 | ☐ 向上 | ☐ 横ばい | ☑ 低下 | |
| 成果指標イ | | | ☐ 向上 | ☐ 横ばい | ☐ 低下 | |

【コメント】(低下の場合、その理由)
新型コロナウイルス感染症の拡大による休校や外出自粛の影響で利用者が減少した。

| 成果動向 比較 | 28年度 29年度 | 29年度 30年度 | 30年度 1年度 | 1年度 2年度 | 2年度 3計画 |
|---|---|---|---|---|---|
| ア | △9,541 | 10,992 | 796 | △28,925 | 28,925 |
| イ | | | | | |

③ 今年度取組事項(3年度に取り組む主な事項について記載)

| 時期 | 内容 | 今後の方向性 | |
|---|---|---|---|
| R3.4～R4.4 | 感染予防対策を行った上運行を維持する。利便性の高い運行について、引き続き千葉交通や沿線市と研究を行う他、総合公共交通マップを改定し、運行情報を市民に広く周知し、利用促進を図る。また、旭銚子線を新たに国庫補助対象路線とするため必要な準備を行う。 | ☐ 拡大　☐ 縮小　☑ 現状維持　☐ 廃止・休止　☐ 見直し　☐ その他(　　) | |
| R3.10～ | 旭銚子線の主系統(飯岡止まりを除く)が、地域間幹線系統確保維持費国庫補助金の対象となり、沿線市の他、国県の補助対象路線となる。今後も関係機関で利用促進施策を実施しつつ、引き続き支援を行っていく。 | | |